

平成 28 年度 住吉高等学校 第 3 回学校協議会

1. 日 時 平成 29 年 2 月 24 日（金） 午後 4 時 55 分～午後 6 時 30 分
2. 場 所 大阪府立住吉高等学校 会議室
3. 協議委員 大阪大学名誉教授・台湾大学客座教授
放送大学客員教授 笠井 俊夫 様
大阪大学ナノサイエンスデザイン
教育研究センター特任教授 奥山 雅則 様
住吉高校 PTA 会長 宮川 玲 様
ベネッセコーポレーション大阪支部 今井 貴文 様

（本校出席者）

学校長、教頭、事務長

久世、白川、斎藤、兼田、藤井、木村（司会）、森口、加藤、清水

4. 本年度の本校の取り組み報告

- （1）本年度の学校経営計画について（学校長）
- （2）進路指導状況について（清水）
- （3）平成 28 年度「骨太の英語力養成事業」について（斎藤）
- （4）平成 28 年度における国際交流行事の記録（藤井）
- （5）平成 28 年度 SSH の取り組みについて（加藤）
- （6）平成 28 年度におけるユネスコ活動（藤井）
- （7）生活指導部の取り組み報告（森口）
- （8）平成 28 年度 SIC の取組について（教頭）

5. 全体協議

全体協議に関しては、「学力向上と進路指導」「生活指導」「SIC の取組」の 3 点について行われた。

〔 I . 学力向上と進路指導 〕

- * 現行の行事をより精査して、生徒の自主的な学習の時間をつくる必要がある。
- * 行事や部活動に打ち込むとともに、学習にも日常的に取り組む姿勢を身につかせ、生徒に進路意識を定着させる指導と雰囲気作りが必要である。
- * 住吉高校の精神である「自由・自主・自立」の真の意味を、全員が熟考しなければならない。
- * 進路指導と SSH との連動性を高める必要がある。
- * 進路指導室に来室する生徒が増加したことは良い傾向である。今後も、生徒がチャレンジ精神を持って、より高い到達点に進めるような課題設定を行うことが重要である。

〔Ⅱ．生活指導〕

- ＊ 現在、生徒が行うアルバイトの目的には「経済的補填」と「娯楽」がある。アルバイトの必要性を生徒に考えさせ、生徒の学習時間を増やすように促すとともに、家庭との連携を強くする必要がある。染髪についても同様である。
- ＊ 寝坊で遅刻をする生徒が多い。他の要因との相関性の有無に関わらず、遅刻は認められるものではない。遅刻者数が減少するような生活指導が必要である。
- ＊ 携帯電話（スマートフォン）に依存度の高い生徒がいる。携帯電話の使い方に関しては、日常の指導に重ねて、家庭でのルール作りなど、家庭との連携が必要である。ただし、携帯電話の使い方によっては、より充実した学習活動に生かすことができる。
- ＊ 生徒自身が自己の所持品の管理をきちんとできるような、物理的・内面的指導が必要である。

〔Ⅲ．SIC の取組〕

- ＊ 「カリキュラム」「授業改善」「ICT」の3つのグループからなるSICの取組は、最終的に一本化して住吉高校の運営全体に還元することが求められる。
- ＊ カリキュラムの工夫や行事の精選・効率化について、SICで議論を重ねるべきである。

6．総評

- ◆ これまでは、学校での行事が多いとともに、生徒が日々の生活の目的意識を明確化できておらず、学習に対する向上心が弱い傾向に見られた。
生徒自身は、住吉高校が掲げる「自由・自主・自律」の意味を熟考し、日常の生活習慣や学習習慣を見直すことが求められる。その反面、教員は本校の精神の意味を生徒に指導する必要がある。
学校生活と進路に向けた強い目的意識を生徒が持つように学校全体で指導を行うとともに、学力向上と進路実現に向けた学習時間確保のための行事の精選と生活・進路指導を進めていきたい。

7．学校長謝辞

<平成 29 年度 第 1 回学校協議会の予定 実施日程：平成 29 年 6 月中旬から下旬の予定>